

港湾事業 再評価

小名浜港 本港・東港地区防波堤整備事業

平成26年7月25日
国土交通省 東北地方整備局

事業名	小名浜港 本港・東港地区 防波堤備事業			事業 種別	防波堤
事業の 目的	小名浜港本港・東港地区に防波堤を整備することにより、避難水域を確保し、沖合航行船舶の海難事故の減少を図る。				
事業の 概要	港名	小名浜港	港格	重要港湾	
	対象 施設	防波堤(沖)	1,140m	防波堤(第二沖)	860m
	事業化	昭和62年度			
	今回評価(H26)			前回評価(H23)	
	全体事業費	執行済み額	進捗率	全体事業費	進捗率
806億円	455億円	56%	806億円	54%	

再評価

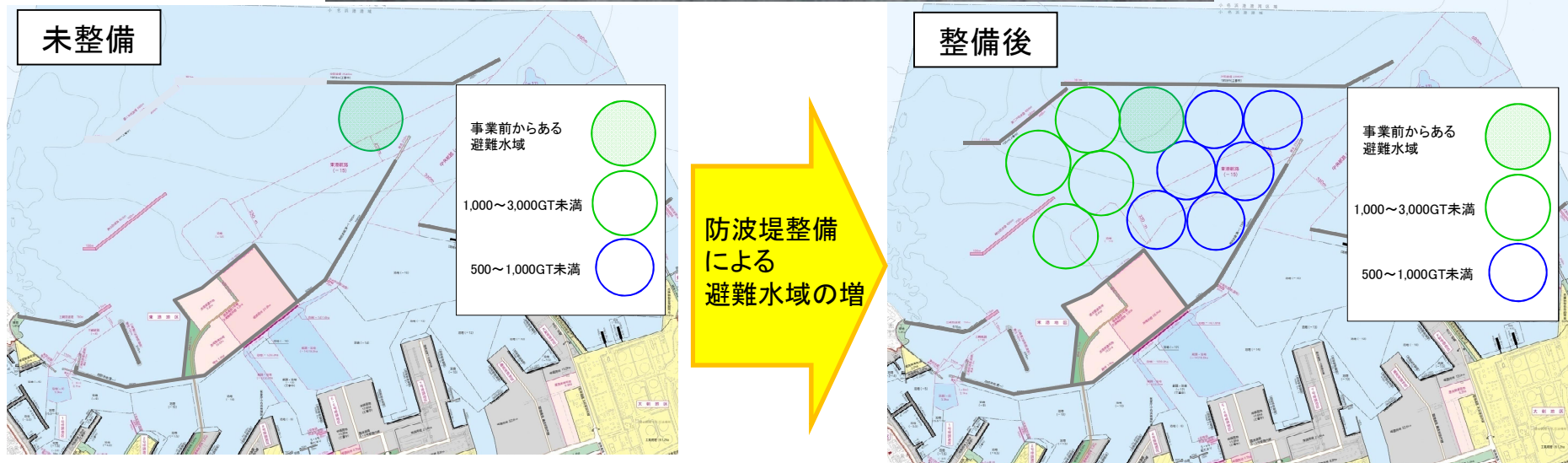
【事業実施位置図】

※ 整備完了: 赤
整備未了: 青

1. 事業の必要性に関する視点（航行船舶の安全確保に対応した施設整備）

- ◆東京湾から金華山沖の間で荒天時避難に適した港湾が少ないため、荒天時の避難船舶に利用されている。
- ◆防波堤整備により静穏水域を確保することで、荒天時における安全な避泊を行うことが可能となり、沖合を航行する船舶の海難事故減少等、安全性の向上に寄与する。

荒天時における避泊の状況



2. 前回評価との主な相違点

①事業費の変更 → 無し

単位：億円

施設名	前回評価(H23)	今回評価(H26)	備考
防波堤(沖)	426	426	
防波堤(第二沖)	380	380	
合計	806	806	

②便益の変更 → 無し

項目		前回評価(H23)	今回評価(H26)	備考
避泊便益	海難における損失回避	10隻	10隻	避泊可能水域の設定に変更無し

③前回評価における費用対効果分析

事業全体	1.7
残事業	5.4